

小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護の自己評価票

(網掛け部分は外部評価の調査項目)

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	I 理念に基づく運営 1. 理念の共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念があり、心に意識しながら業務を行っています		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングやカンファレンス時に全員で唱和し理念に添った介護を目指しています		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	園内の見やすい所に大きく貼って毎月のニュースの中にも書き込んでいます		
	2. 地域との支え合い			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	回覧板を持って行き声かけ挨拶したり、畑で採れた野菜を頂いたりしている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老入会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣組に入れてもらい回覧板等で情報をもらい行事に参加している		
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の掃除や草取りに参加している 子供劇団への協賛。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価で指摘を受けたことを改善し、毎日実践している		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で得た情報を職員に報告し、また園内の情報も理解してもらえるよう報告する		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターのケアマネさんと連絡をとり、グループホームや地域の情報を入手するようにしている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度は何人かが利用され、その助言や相談に乗っている		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束はもちろんありませんが不注意な言動などは注意を促し利用者への影響に留意している		
	4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入苑前の説明や契約時の説明は十分行っている	○	契約時の説明だけでは忘れておられることもあり、家族等で再度必要なことを説明する

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の方とは個人的によく話をするようにしています 家族からも面会時に様子を聞いています	○	言葉で伝わらない部分や遠慮されている部分があるかもわからないのでよく気を配りたい
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族には来苑時に報告しています。その他電話でも承認を得たりしています		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を設置しています。また、市の介護課への苦情、相談も出来ることを伝えていきます		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見はよく聞くようにしていますが反映出来ること出来ないことがあります	○	職員も言いにくいことがあるかもわからないので、出来るだけ個人面談の時間をとるようにしたい
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者急変時の受診や外出時の人員調整は仕事に支障のないように心がけていますがギリギリの時もあります		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の1棟、2棟間の移動は職員のストレス対応を考慮したり、また両方の利用者を良く知ることは外出時に必要なことで利用者も今は職員の顔はよく覚えておられます		
	5. 人材の育成と支援			
19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。	募集は会社に必要な人（資格、年齢）を考慮しています 仕事内容は全員公平に行っています		

	また、事業所で働く職員についても、その能力を ¹⁾ として生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している			
--	--	--	--	--

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	法人代表が毎日出勤し職員の行動に注意を払っている		
21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	現場での学習は必要に応じて行っている。外部の研修はあまり機会がない	○	管理者は必要な研修に参加するが職員、パートは選択肢がない
22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他ホームとの交流は個人的な情報交換ぐらいであり少ない		
23	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者の決めた食事会はあったが、ストレス解消になっているかわからない		
24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の評価は変わらないようですがパートさんは年数や時間によって評価が違う		
	II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	十分協力しています 納得いかなければ自宅まで帰ってみることもしている		

26	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族とも十分話し合い、尋ねよう相談しています		
----	---	------------------------	--	--

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の要望を聞き、苑の方針、内容を知ってもらう。他の施設のことも紹介しています。		
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	様子を観察しながら見守り、声をかけて馴染んでもらう。利用者の心になって共に行動する。		
	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として接し、伝統行事、色んなことを教えてもらう。		
30	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会では状況を話したり又、要望を聞いて理解し合っている		
31	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時間は自由で又、外出、外泊も自由に行ってもらっています。利用されるまでの経緯はよく聞くようにしています		
32	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	誰とでも自由に会えるし、行きたい所にも連れて行くようにしています。	○	個人の思いをすぐ実行に移すのは無理なときがあるが話し合って思いに添いたい
33	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え渡るように努めている	平穏なときの関わりはスムーズに行っているが、たまにトラブルになるときがある	○	職員が中に入ってどちらの意見も取り上げ間違っていないことの確認をしておさめるようにしている

34	○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院のために退苑さ と人たちを見舞いに行ったり電話等で声かけしている		
----	---	--------------------------------------	--	--

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
35	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	食事の希望や行事、外出等希望を聞いて取り入れている	○	それぞれの希望が別々で一緒に出来ないこともあり調整していくようにしている
36	○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人の生活はよく話していただくようにしています 若い時の話は皆さん饒舌です		
37	○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	様子を観察し申し送りを重視して現状を把握する		
	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の話を聞きADL等も考慮して、納得のいく生活を支援するプランを、職員全員で話し合っている		
39	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎の見直しを、又身体に変化がある場合等もプラン見直しをしている		

40	○個別の記録と実戦への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の行動、ケアの様子; 記録をし、職員で話し合っ てプランの見直しをする		
----	---	--	--	--

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家庭で生活している気持ちを大切に、落ち着いた毎日が送れるよう支援している	○	職員の人数がもっとあればまた別のことも出来るという思いがある
	4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
7 42	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	押し花、エステ等のボランティアを、お願いしている	○	本人の意向かどうか? 喜ばれてはいるが...
43	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスを利用する支援はしていない		
44	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターから情報はもらうよう声かけしている		
45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院を決めて受診したりして家族には報告しています		
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院の医師に相談しながら関係を密にしている		

47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	事業所の看護師が中心として医療との連携をとり健康管理を行っている		
----	---	----------------------------------	--	--

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院とは常に連絡を取り状態把握に努め、面会にも行く		
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合、医師、家族、職員と何度か話し合っている		
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	状態変化については3者でよく話し合い最後まで出来る支援をするよう努力している		
51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	当然不安や混乱はあるので、説得するのではなく利用者と行動を共にしている	○	家族の協力をもっとお願いしたいが、家族も利用者が落ち着かないと帰される不安があるようです
	IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録は毎日しています。職員もそれぞれ注意しながら対応しています		

53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	それぞれの利用者に合わせて対応を行ない、希望等も聞くようにしています	○	室内での行動は希望をよく取り入れませんが、外出等が一人ひとりの対応が頻繁に出来ない
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日がその瞬間だけしかわからないが楽しく暮らしている		
番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	衣類の調達等は家族にお願いし又、本人の可動域にあう服を着ていただく。理容も希望を聞く	○	エステのボランティアに来ていただき表情の変化を実感しています 日中の化粧も声かけしたいです
56	○食事を楽しむことのできる支援 重食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	何が食べたいか尋ねて食づくりしている。出来る方には手伝っていただく	○	外食の機会をもっと増やしたい
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	男性もタバコ、酒は飲まれないのでイベント等に梅酒を少し出しています	○	病氣管理もあるのでその人にあった対応を考えています
58	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりに合わせた支援をしています	○	拒否のある方はどうしても後始末が不衛生になるので機嫌を見て清拭、シャワーをする
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は全員、気持ちが良いと喜ばれている。本人の希望を聞いている	○	一人が入られると自分が入ってないことを訴えられるので同じ日に入るようになる
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	お昼寝されている 夜間の巡視もこまめに行なっている		

	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	役割はそれぞれに家事を分担して時々やってもらっている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族希望で預かっているが、買い物時は本人が財布から支払われる小銭を持っておられる方もある	○	財布の所在が気になるようで預かっていることを伝えると安心される
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	四季折々のドライブもよくしているし、何回かに分けたりし、年間を通し全員参加あり		
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ドライブ・市民会館・園児との交流	○	家族の参加は声かけするが仕事をしておられ、なかなか一緒にいけない
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	絵手紙、年賀状等各自に書いていただき、出しておられる	○	本人が自分で掛けられることは難しく、希望があれば取り次ぐようにしている
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	いつでも気軽に来て戴きたいと、声かけし、時間制限もしていません		
	(4) 安心と安全を支える支援			
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていないが理解が難しく歩行不安定な方が立ち上がると「どこに行きますか」と制止するような言動にはなっています		

68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は開けていますが夕方の準備で忙しい時間は閉めます		
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	いつも心がけ、注意しています	○	年々足腰が弱くなられるので移動にも付き添うように声かけしています

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	認知能力の低下のため異食される方に対しては歯磨き粉や化粧品などは居室ではなく別の所で管理している		
71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒されやすい方、徘徊される方に対しては十分な見守りをし、誤薬のないように一人ずつ名前を呼びながら手渡して飲んでもらっている		
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	心肺蘇生は年2回程訓練していますがその他の対応は指導、申し送りしています	○	マニュアル化したいと思っています
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難場所、方法は、内部でのみ話し合いをしています		
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族とはよく話し合い、納得のいくようにしています		
	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行い普段の状態と違う人に対しては注意を払い受診か様子観察をするが速やかに対応し申し送りをしています		

76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬を作るときはいつも ³ についての作用などについて必ずまた確認している。服薬も介助している		
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維のある食物を献立に取り入れたり散歩やおなかのマッサージなど適度な運動をしてもらっています	○	服薬によるコントロールも行っていますが出来るだけ使わないようにしたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後歯磨きを行なっていたり残渣物がないよう口腔ケアを行なっている	○	拒否がある利用者への対応を色々工夫している
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や水分量は一日を通してチェックし、確保できるよう努めている。味付けも病状により差をつけている		
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	次の動作に移る時は、必ず手洗い励行、消毒を行なっている。	○	排泄自立の利用者の手洗いが完璧ではないので食事前は必ず手洗いをしてもらう
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	包丁、まな板など熱湯消毒、乾燥機にて衛生管理。こまめに生ごみを片付ける		
	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
82	○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には花や、その季節の飾り付けをして、入ってこられた時に自宅の雰囲気と同じように感じていただけるよう工夫している		

83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂でほぼ一日過ごさ、ので季節が感じられるディスプレイにしている		
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	夜以外、居室で一人で過ごされることはあまりなく、ほとんど食堂でそれぞれの会話を楽しまれる		
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個人の思い入れのあるものをもってこられ、それぞれの特徴のある居室になっている		
番号	項目		○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	起床時に窓を開け換気に努めている。冷暖房の調節もこまめに行ない利用者が快適に過ごせるよう努めています		
	(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを廊下につけ、居室も廊下が危険でないように		
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ドリルとか、絵を描く、読書、それぞれにやる気を出されている		
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外回りに季節の花々を植えたりデッキでお茶を飲んだり。菜園を作って収穫を一緒にしていただく	○	ウッドデッキがあり車椅子の方も外で遊んだり歌ったり、自由に出来ることを広げたい

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
V サービスの成果に関する項目		
90	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
91	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
92	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	まる1ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
97	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input checked="" type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
98	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
99	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
100	○職員は、生き活きと働いている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
101	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
102	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ②家族の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- 一日の流れをゆったりと過ごすことを主に考え、出来るだけ職員が寄り添って会話するように心がけている。
- その日の天気で外出等を計画、実践できる心がまえをしている。
- 利用者の穏やかな表情とは反対に、年々、足の衰えが目立ち転倒が増えてきたので、転倒や怪我がないように、いつも危険を想定した介護を心がけるよう意識しています。
- 保育園児の交流は利用者も喜ばれ、他にない特徴だと思っています。

小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護の自己評価票

(網掛け部分は外部評価の調査項目)

	I 理念に基づく運営 1. 理念の共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	苑独自の理念があり、全員が常に意識しながら業務を行っています		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティング時、カンファレンス時に全員で理念を唱和し、理念の共有と実践に努めています		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	毎月のニュースに理念を書き込み、家族に理解してもらえるようにしている 苑内の見やすい所に貼り、家族や面会者にもよく目につくようにしている		
	2. 地域との支え合い			
1 4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の途中で近所の人と挨拶を交わしたり、野菜をいただいたり気軽に声をかけあっている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老入会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣組みに入れてもらい、回覧板等で地域の情報をもらったり、行事に参加している		
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の公園の草取りに利用者と一緒に参加している 週1回、苑の前の道路の掃き掃除をしている 子供劇団への協賛。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価で指摘を受けた項目は職員全員で検討、改善に向け毎日実践に取り組んでいる	○	運営者をはじめ、全スタッフに評価の意義を理解してもらえよう、話し合いながら進めていきたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で利用者や苑内の状況を報告したり、地域の情報をもらったりしている。また会議で得た情報は職員にも報告している		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	あまり行き来はしていないが、電話で情報を得たり、助言をもらったりしている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度は今までに数人利用され、家族の相談を受けたり助言を行っている		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束、人権尊重についてはミーティング時や折々に話し合ったり、意見交換を行っている。	○	今後も言葉使いや対応等について常に注意し合い、一人ひとりの人権を大切にしたいケアをおこなって行きたい
	4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や解約の際は、事前に十分な話し合いを持ち理解・納得された上で行っている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者とは個人的にゆっくりお話をするようにしています また家族面会時には出来るだけ生活の様子を伝えたり、意見、不満を聞くようにしています、		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の健康状態、金銭管理については面会時や電話等で頻繁に報告しています。職員の移動は家族会で報告したり面会時などに随時、報告、紹介しています		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時には利用者の健康状態や暮らしぶりなど報告し、家族とのコミュニケーションを十分にとるよう心がけています。	○	家族の意見や希望は気軽に言ってもらえるよう、意見箱にお設置した
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティングで意見や提案を聞く機会を設けている。出された提案等について、実現可能なものについては即対応を心がけている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者や家族の状況の変化に対応し急な人員配置にも対応できるよう、心がけていますが、厳しい面もあります	○	早出、遅出の出来るパートさんが少なく、運営者とも話し合いながら勤務時間設定の見直しも含めた改善をしていきたい
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	同じ敷地内であるためスタッフは日常にお互いのホームを行き来し、職員全員が1棟、2棟の全利用者との馴染みの関係が出来ている。離職者も少ないと思う		
	5. 人材の育成と支援			

19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。</p> <p>また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>性別、年齢等で制限は設 <input type="checkbox"/>いない</p> <p>毎月のシフトを組む前に希望休を取り入れ、社会参加や自己実現のための便宜を図っている。</p>	○	職員の年齢層は
----	--	--	---	---------

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>言葉使いや対応のあり方について、気づいた時やミーティングで注意したり話し合ったりしている</p>		
21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者は必要最な研修に参加しているが、職員を育てる取り組みはなく個人の頑張りには頼っている</p>		
4 22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>介護保険課の担当者との情報交換はしているが同業者との交流は今のところない</p>	○	他ホームとの相互訪問をしてサービスや質の向上に役立てたい
23	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>運営者が決めた食事会はあったが、職員の希望や思いは取り入れられていない。</p>	○	職員のストレス軽減のため、有給休暇の取得について運営者と話し合っていきたい
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>勤務評価などの仕組みはなく、個人の努力や実績が評価されているとは思われない</p> <p>あっても基準はわからない</p>		
	<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			

25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用前に面会して、お詫 聞いたり、本人、家族に見学してもらって、入苑者と交流してもらったりして不安なことや質問に対応している		
26	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入苑前に見学し、暮らしの状況など見て頂もらい、疑問や質問を受けて、安心して利用してもらえよう支援している		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	むやみに入所を勧めるのではなく、本人、家族の状況や希望を見極め、適切なサービス利用の支援に努めている		
5 28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学や遊びへの参加を取り入れ、家族とも協力しながら自然にサービス利用に馴染めるよう工夫している		
	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として尊重し、教えられたり、教えたり、昔の話を聞いたりしながら一緒に過ごしている		
30	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家庭の事情も考慮しながら、出来るだけ利用者との関わりを絶やさないう働きかけたり状況の報告、受診時の付き添いや面会の依頼などしている		
31	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事への参加協力等の呼びかけ、苑便りの送付、暮らしぶりの報告などを行い本人と家族との良好な関係が保てるようにしている		

32	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の行事に参加したり、行きつけの場（店）へ行けるよう支援している	○	苑で対応不可能な希望については家族に本人の希望を伝え協力してもらっている
33	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係にも常に気遣いながら、一人ひとりの気持ちを大切に接している		
34	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院となり退苑された人には、時々様子を見に立ち寄り、声かけをしている		

6

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用開始時のアセスメントや介護計画の見直し時に家族、本人と十分話しをし、希望や意向を確認している。		
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始時のアセスメントで家族、本人より話を聞いて把握に努めている		
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	決められた生活の流れはあるが、利用者のペースに合わせ無理強いしないようにしている		
	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			

38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	計画作成者が中心となり見作成、見直し時にはご家族、本人、担当スタッフ、看護師等の意見、観察と気づきを聞き状況を把握し作成している		
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに見直しを行っている。また退院後や状態変化時にはその都度見直しを行い、家族に説明、スタッフ全員が計画書に目を通し把握するようにしている		
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その日の暮らし方や健康状態の変化など個別に記録している。また業務日誌や、申し送りノート等により確実な情報伝達に努めている		

7

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	多機能的な支援はしていないが、本人家族の希望をできる限るかなえるようにしている		
	4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	押し花、エステなどのボランティアをお願いしている。 保育園児との交流は盛んに行なっている		
43	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスの活用はない		

44	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に1度の運営推進 麓で地域包括支援センター職員に参加してもらっているが協働はない		
45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診、緊急時すぐ往診依頼できる協力病院がある。また家族が対応できない利用者については苑で受診支援を行っている		
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者が認知症の専門医を受診するときは日ごろの様子や変化を家族に伝え診断や治療に役立つよう支援している		
47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤の看護師と相談しながら利用者の健康管理に努めている		

8

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院したときは電話等で定期的に状況を聞いたり、病院に就いて本人と面会したり、病院関係者との情報交換を行っている		
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	苑としては重度化された方でも緊急医療が必要でなければお世話はいとまない方針であるが家族や医療との話し合いを十分に行い慎重に対応している		
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者、家族の意向を第一に尊重し、苑で出来ること、出来ないことを見極め、医療との連携を図っている。		
51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	相手関係者には十分な情報提供を行い転居後も安心して生活できるように努めています		

	IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	各部屋にトイレがあり、プライバシーは保たれている。失禁や衣類の汚れなど、さりげなく居室に誘導して着替えを促している。個人情報の取り扱いにも気をつけ、引継ぎのときは利用者の目や耳に入らないよう場所や声の大きさに気をつけている		
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	率直に思いが表せるような言葉かけや雰囲気作りに気をつけている。また希望や決定はゆっくり確認しながら行っている		
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に本人の意思を確認しながらその人のペースや希望に合せた支援に心がけています		
番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	数名の人には行き付けの店や望む店に行っていただいています。訪問理容師も利用しています		
56	○食事を楽しむことのできる支援 重食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者の希望を取りいれています。準備や後片付け、食堂の掃除は利用者が積極的に手伝われます。		
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒は年に数回しか出していません。タバコは禁止している訳ではないが今は喫煙者はいません。おやつはご家族からの差し入れや頂き物を皆さんと一緒に食べる人が多いです。	○	嗜好品を聞いても答えられないことが多いのですが、行事や特別な日のお酒や飲み物の支援は今後考えていきたい

58	○ 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間帯を決めて、またに 時トイレ誘導や声かけを行っています。オムツ使用についても職員で話し合いオムツ外しに取り組んでいます。現在オムツの使用はありません。		
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回入浴を行っていますが曜日や時間帯を制限しているものではありません。		
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	お昼寝や就寝時間は特に決めていませんので、思い思いに過ごしていただいています		
	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	四季折々の外出、園芸、作品作り、園児との交流、など行っています家事のお手伝い等もよくされます。	○	自然と役割が決まっているが分担がいきわたるよう配慮しています

10

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんどの人はお小遣いを預かっているが本人で所持されている人もいます		
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気のいい日はドライブに行ったり、散歩に行ったり、買い物に行ったりしています。希望があれば出かけられるよう支援しています		
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お盆や正月には出来るだけ自宅で家族と一緒に過ごしてもらえよう家族に働きかけをしています。また観桜会や運動会など家族の参加をお願いし、一		

		緒に時間を過ごせるよう しています		
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	遠方に居られる家族にお礼の電話や手紙、依頼の電話など必要に応じやり取り出来るよう支援しています。携帯電話を所持している人もいます 年賀状も一人ひとり出して頂ました		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	いつも気軽に訪問して頂けるよう、スタッフは常に挨拶、笑顔を忘れず、居心地よく過ごせるよう玄関、部屋のディスプレイも工夫しています		
	(4) 安心と安全を支える支援			
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束となる行為についてミーティング等で話し身体拘束をしないケアに取り組んでいます		
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物の造りが内側電源式の自動ドアなので電源を切って対応している		
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の所在や安全の確認は当然のことであり常にスタッフ間で連携を取り安全に配慮している		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	状態に応じ、針や挟み、爪切り等、個人で管理してもらっている。包丁や洗剤などは徘徊、収集癖のある利用者がおられるので、夜間は目に付かない所に保管している		

71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	些細な事故でも事故報告とヤリハットを提出してもらい、全員に目を通してもらうことにより意識付けと事故防止を図っている		
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	心肺蘇生は消防署に頼んで定期的に講習をしてもらっています	○	急変時や事故発生時は協力病院と速やかに連絡を取り対応しています
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災避難訓練は年1回消防署の協力を得て行っているがその他の災害や地域の人々の協力は十分とはいえない		
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	健康状態や暮らしぶり等について、面会時や電話などで随時報告し、リスクについても説明し理解と了解図っている		
	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェックを行い、又食事摂取量や排便、排尿の管理等も行い健康管理に努めている。異変時は看護師を中心としたスタッフ間の申し送りを確実にを行い情報の共有を図っている	○	体調の変化や受診の状況は事前、または連絡の取れる時間帯をみながら家族への報告も適時行なっている
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の薬の情報はファイルに綴じてあるので一人ひとりの薬の目的や用法は理解している	○	誤薬を防ぐため朝、昼、夕、の薬は日付と名前を色分けしており必ず手渡しして服薬の確認をしている
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	10時、3時に水分補給をしている。ラジオ体操、廊下歩行をしたり天気の良い日は散歩に出かけたりし体を動かす生活に努めている	○	毎日排泄チェック表を付け管理しています。夜間もペットボトルでお茶を居室に用意している。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自分で歯磨きできない人は、毎食後歯磨き介助を行っている 歯間ブラシ、入れ歯洗浄剤の使用		
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の確認、を行ない十分でない方には看護師と相談してエンシュア等の栄養補給をしている	○	毎月はじめに体重測定を行ない健康管理の目安にしている 又、粥、刻み、減塩、カロリー制限等の支援を行なっている
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症予防対策マニュアルがあり実行している 毎年、全利用者、職員ともインフルエンザの予防接種をしている	○	マニュアルがない分があるので早急に作成する
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の注文は朝と、昼分は前日の昼ごろ配達、夕食分は当日に配達してもらっている	○	食器、まな板、包丁など毎回乾燥機にて消毒している
	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	植物や利用者の作品などを飾り、来苑される方にもいい雰囲気を感じていただけるよう工夫しています	○	外回りは利用者の方と一緒に花を植えたり、掃き掃除をしたりしています
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂が狭かったので畳を4枚取り外し広くしたり、日光が入りこむ高窓には暖簾を張り日よけをつくる等、限られた空間だが工夫、改善を図っている		
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂にソファを入れたり、玄関にテーブルを置いているが利用される方はあまりない。居室でくつろぐか食堂が多い		
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族に働きかけを行いながら少しずつだが居心地よい空間作りを目指している		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝食後や掃除の時に窓を開けて換気をしている。暖房や冷房は個人の希望にも配慮しながらこまめに調整している		
	(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は段差がなく、廊下には手すりが付けられている。		
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室入り口には利用者の名前を掛け部屋を間違えないようにしている。各居室にトイレや洗面台があるので混乱や失敗は少ない		
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	食堂横のデッキで日光浴をしたり、歌を唄ったり、洗濯物を干したり、花に水をやったりと敷地やデッキを活用している		

14

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
V サービスの成果に関する項目		
90	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない



91	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="checkbox"/> ①毎日ある <input type="checkbox"/> ②数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> ③たまにある <input type="checkbox"/> ④ほとんどない
92	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
93	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
94	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない
95	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんどいない

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input checked="" type="checkbox"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ④ほとんど掴んでいない



97	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族 <input checked="" type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
98	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
99	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
100	○職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
101	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
102	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ②家族の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

春には観桜会、秋には運動会などの行事を始め、誕生会や園児との交流会など子供たちとのふれあいが日常的に行われています。また自家菜園があり四季を通じて自分たちで栽培、収穫した野菜が食卓に並びます。年間を通し月ごとの行事を計画し積極的に外出の支援も行っています。利用者間、スタッフとの関係も和やかで一人ひとりを尊重し主体性を持って生活できるような支援に心がけています。